

# THANKO

## 型番 :S2LUADPB

### 取扱説明書

version1.0 i

安全上のご注意 .....	2~4
本体各部名称 .....	5
取付方法 .....	6
調理 / 炊飯 .....	7~10
調理後 .....	11
お手入れ .....	11,12
困ったときは .....	12
点検のお願い .....	12
製品仕様 .....	13
サポートのご案内 .....	14



このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前に  
この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。  
お読みになった後は、お手元に置いて保管してください。

家庭用

日本国内専用  
Use only in Japan

保証期間：購入日より12ヶ月

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

## ●表示の説明



**警告**

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



**注意**

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

## ●お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

- ・火災、感電、怪我などの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## 警告



改造や分解をしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない

火災・感電・怪我の原因。  
修理は弊社サポートまでご相談ください。



本体・電源コードを水につけたり、水をかけたり、丸洗いはしない

ショート・感電・火災・故障の原因。



交流 100V 以外では使用しない

火災・感電・故障の原因。



定格 15A 以上のコンセントを単独で使う

感電・ショート・発煙・発火の原因。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう

感電・発火・故障の原因。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電・発火の原因。



使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。

怪我ややけど絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない

感電・怪我のおそれ。



電源コードに蒸気をあてない

火災・感電・発火の原因。



電源プラグは根本まで確実に差し込む

火災・感電の原因。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る

火災・感電の原因。



電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用しないでください。また重い物を載せて使用しないでください

電源コードが破損し、火災・感電の原因。



アースを必ず取り付け

故障や漏電時、感電の原因になります。アース工事は、必ず電気工事店などに依頼してください。（工事費は本体価格に含まれません）



電源コードが傷んでいた、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない

感電・ショート・発火の原因。



電源プラグをなめさせない

感電・怪我の原因。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



子どもや不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

火傷・感電・怪我の原因。



穴・すき間・開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない

火傷・感電・やけどの原因。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ⚠ 警告



揚げ物調理はしない  
火災の原因。



本体を持ち運ぶときは、充分冷めてからおこなう  
火傷・怪我の原因。



通電したまま放置するなど、使用中にその場を離れない  
火災・発火・発煙の原因。



注ぎ口や蒸気口に触れたり、手や顔を近づけない  
感電・怪我のおそれ。



使用中は、無理にふたを開けない。移動させない。  
火傷・怪我の原因。



調理以外の用途では使用しない  
火傷・怪我の原因。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する  
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・怪我などの原因。  
・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している  
・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い  
・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする  
・本体がいつもと違って以上に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする  
・本体が動作しない など  
上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。



屋外で使用しない  
漏電・感電の原因。

## ⚠ 注意



不安定な場所や熱に弱い敷物の上、火の近く、燃えやすいものの近く、すべりやすい場所などでは使用しない  
怪我・火災の原因。



缶詰や瓶詰などを直接加熱しない  
破裂や赤熱して、火傷・怪我のおそれ。



壁や家具の近くで使用しない  
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。



電源ケーブルを持って本体をひきずらない  
故障・事故の原因。



お手入れは充分冷めてからおこなう  
火傷・怪我の原因。



製品の上に不安定なもの、花瓶など水を入れた容器をのせない  
感電・ショート・発火の原因。



水まわり、風呂場など水のかかる場所では使用しない  
ショート・感電・火災の原因。



沸騰中注ぎ口に手や顔、水気に弱いものを近づけない  
怪我・火傷・故障の原因。


















次のような場所では使用しない  
・火気（コンロ・ストーブ）などの近くや直射日光のあたる所  
・高温（40度以上）になる所  
・ほこりや金属片の多い所  
・油・油煙・引火性のガスのある所  
・雨や水のかかる場所や湿気の多い所

# 安全上のご注意

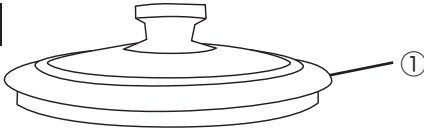
必ずお守りください

## ⚠ 注意

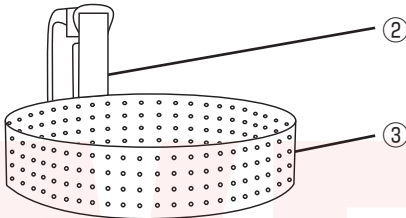
-  使用中は本体から離れない  
発火のおそれ。
-  本体を直接ガスコンロなど直火にかけない  
腐食・発火の原因。
-  水やだし汁を沸かすときは、ふきこぼれに十分気を付ける  
感電・ショート・火災・火傷・故障の原因。
-  使用中や使用後しばらくはカーテンや新聞紙などの燃えやすいものが接触しないようにする  
火災・発火の原因。
-  空だきをしない  
変形・変質・故障の原因。
-  使用中や使用後しばらくは、フローリング・畳・絨毯・熱に弱い敷物（テーブルクロスなど）の上に置いたり、持ち運んだりしない  
床面や敷物が熱で変色・変質したり火傷・発火・火災の原因。
-  蒸しもの料理などでふたを開けるときは蒸気に注意する  
火傷のおそれ。
-  ふたを持って移動しない  
落下による怪我・故障の原因。
-  長時間過熱したときはふたに素手でふれない  
変形・変質・故障の原因。
-  使用中や使用後しばらくは、高温部に触れない  
火傷の原因。
-  揚げ物・焼き物・炒め物をしない  
油を入れると高温となり、破損・故障の原因。
-  重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない  
火傷・故障の原因。
-  市販のタイマー機器を接続して使用しない  
故障の原因。
-  本体を落としたり、変形させたりしない  
故障の原因。
-  ふたなどは付属品以外のものを使用しない  
破損・故障の原因。

# 本体各部名称 / 付属品

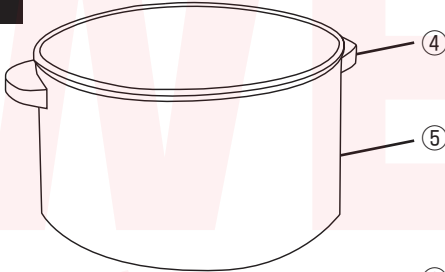
蓋



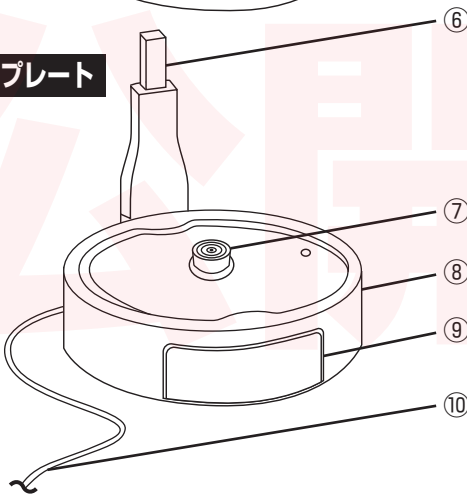
ザル



鍋

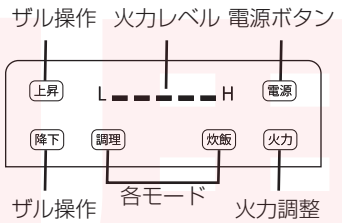


電源プレート



- ①蓋
- ②ザル持ち手
- ③ザル
- ④鍋持ち手
- ⑤鍋
- ⑥ザル取付ポール
- ⑦ヒーター接続部
- ⑧電源プレート
- ⑨操作パネル
- ⑩電源コード

## 【⑨操作パネル拡大図】

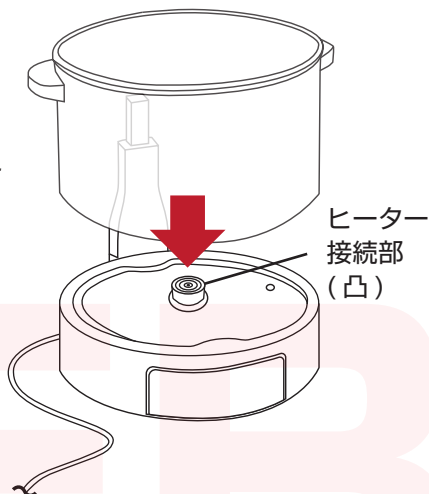
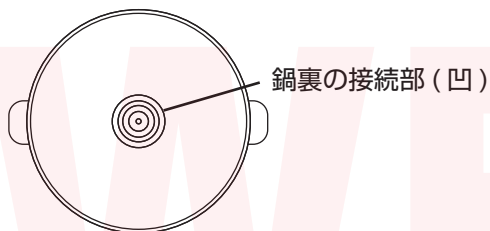


完成図

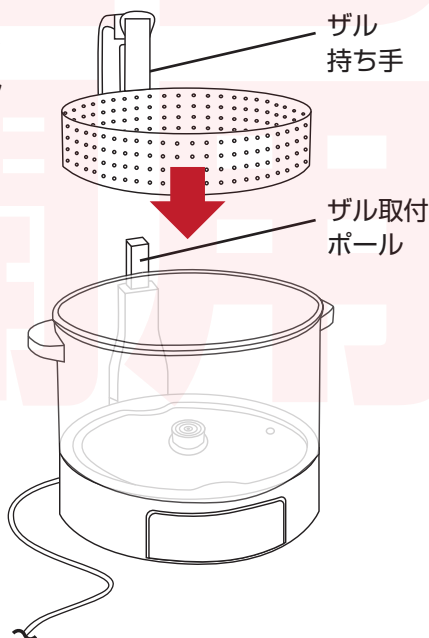
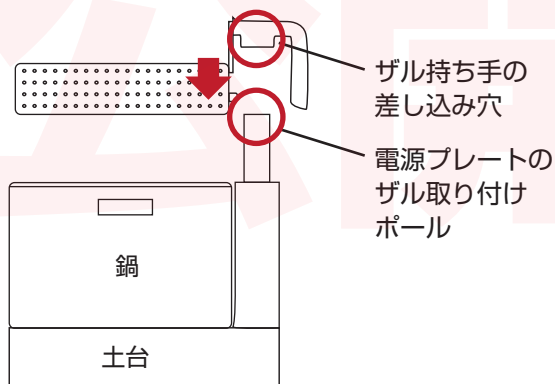


## 取付方法

①電源プレートに鍋をセットします。  
この時、ヒーター接続部の(凸)と鍋裏の  
接続部(凹)が合うように取り付けます。  
取り付け後、鍋を回してみても回転しなけれ  
ば設置完了です。



②ザルをセットします。  
鍋の上から、ザルの持ち手部分にある差し  
込み穴に、電源プレートのザル取付ポール  
を奥まで差し込みます。



## ①電源ケーブルを接続します。

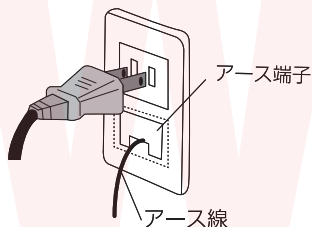
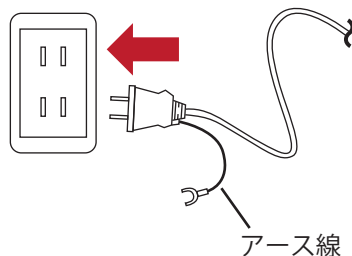
電源プラグをコンセントに差し込むと、「ピッ」という起動音が鳴ります。この時、電源ボタンのLEDが点滅しスタンバイの状態となっています。

※電源は必ずAC100Vをご使用ください。

※電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

※必ず水平な場所でご使用ください。

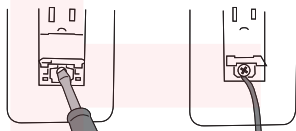
※燃えやすい物、熱に弱い物の近くで使用しないでください。



※アース線を必ず接続してください

電源プラグをコンセントに接続してください。

※壁のコンセントから、直接接続してご利用ください。



マイナスドライバー等でアース端子のフタを開けアース線取付用のネジをゆるめます。

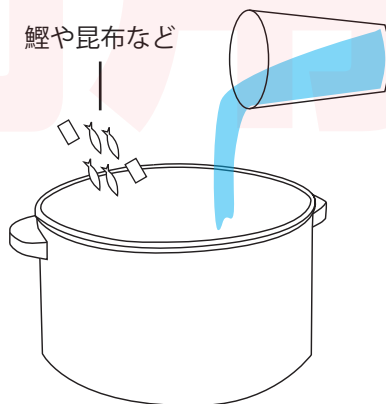
ゆるめたネジにアース線をはさんでネジをしめます。最後にアース端子のフタを開けてください。

アース端子にはさまざまな形状がございます。取り付け方法が不明の場合にはお近くの電気工事店でご相談ください。

## ②鍋に水、または鍋の素を入れる

鯉や昆布などでだしをとる場合は、この段階で投入してください。

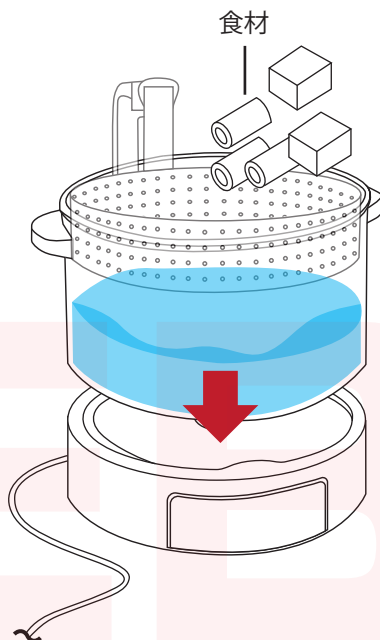
水の量は、**1500ml~1700mlの間**で入れてください。**規定量以上入れますと、具材を入れ昇降した際に水が溢れる可能性があります。**



## ③ザルに食材を入れる

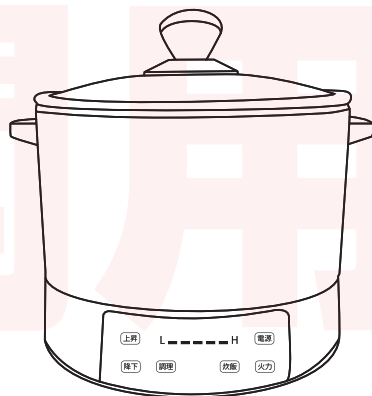
【取付方法 (p6)】を参照に、ザルを取り付けます。取り付けた後は食材を入れます。ザルから溢れない程度を目安にお入れください。※必要に応じて取り付け前に具材を入れることも可能です。

水などを入れたら【取付方法 (p6)】を参照に、鍋を電源プレートにセットします。



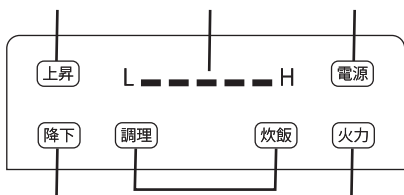
## ④モードを選択する

具材などを入れ終わったら、蓋をします。  
 [電源ボタン]を一度タッチすると「ピッ」と音が鳴り [電源ボタン]、[調理ボタン]、[炊飯ボタン]のLEDが点灯します。  
 [調理ボタン]を選択すると [火力レベル]のLEDが約3秒間点滅し、ザル取付ポールが上昇していた場合は自動で降下します。すでに降下している場合はそのまま調理が開始されます。



### 【操作パネル拡大図】

ザル操作 火力レベル 電源ボタン



ザル操作 各モード 火力調整



## ⑤火力調整する

調理開始時の火力は最大となっています。  
火力調整する場合は、[火力ボタン]をタッチして調整してください。タッチするごとに火力レベルが上がりますのでお好みの火力に調整してください。調理を一時中断する場合は、[電源ボタン]をタッチしてスタンバイの状態に戻します。

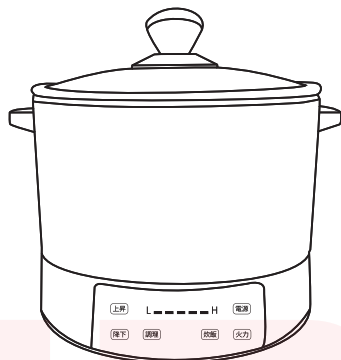
### ⚠ 警告

使用中や使用後しばらくは、取っ手以外の側面の高温部に触れない

火傷の原因になります。特にお子さまには触らせないように注意してください。

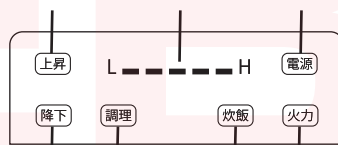
側面部分は、大変**高温**になりますので絶対に**触れない**でください。

また、調理中絶対に鍋を持ち上げないでください。



【操作パネル拡大図】

ザル操作 火力レベル 電源ボタン



ザル操作 各モード 火力調整

## ザルの昇降方法

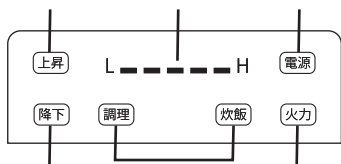
ザルの昇降は、スタンバイの状態や調理中でも操作することが可能です。

上昇・下降中に各ザル操作ボタンを押すと途中で止めることができます。

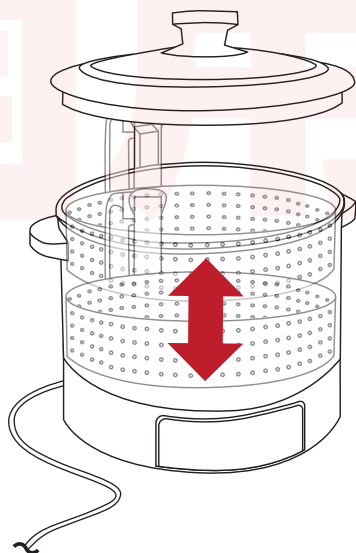
**調理中に上昇させた場合自動で最小火力になり、下降させると自動で最大火力になるためその都度火力調整をしてください。**

【操作パネル拡大図】

ザル操作 火力レベル 電源ボタン



ザル操作 各モード 火力調整



# 炊飯

## ①ザルにお米を入れる

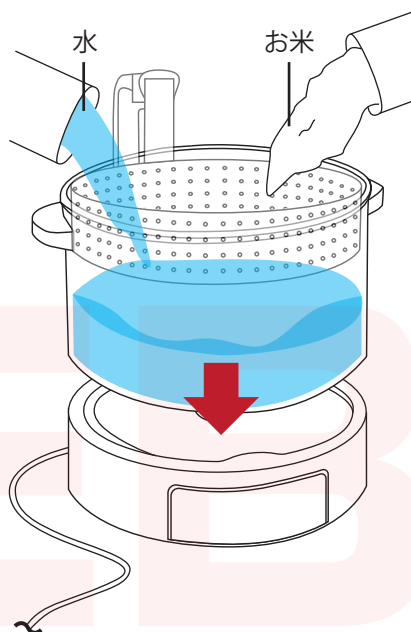
【取付方法 (p6)】を参照に、電源プレートに鍋とザルを取り付けます。

取り付けた後ザルにお米を入れます。

最大で2合まで炊くことが可能です。

※規定量以上のお米を炊くことはお控えください。

※必要に応じて、お米をといでから入れてください。



## ②水を入れる

水はお米のお好みの硬さに合わせて1000ml～1500mlの間で入れてください。

水量は入れたお米の量に合わせる必要はありません、一合でも二合でも同じ水量で炊いてください。

※最低水量は1000mlとなります。

※水の量を増やすと柔らかく炊けます。

## ③モードを選択する

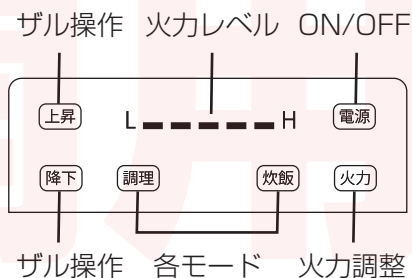
お米と水を入れ終わったら、蓋をします。

[電源ボタン]を一度タッチすると「ピッ」と音が鳴り[電源ボタン]、[調理ボタン]、[炊飯ボタン]のLEDが点灯します。

[炊飯ボタン]を選択すると[火力レベル]のLEDが約3秒間点滅し、ザル取付ポールが上昇している場合は自動で降下します。すでに降下している場合はそのまま調理が開始されます。

炊飯時間はお米量に関係なく、約30分で炊き上がります。炊き上がると自動でザルが上昇します。

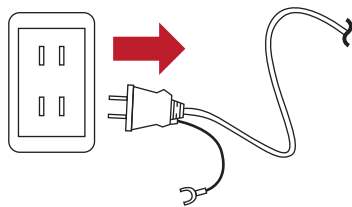
### 【操作パネル拡大図】



## 調理後

### ①電源をオフにしてケーブルを抜く

[電源ボタン] をタッチして電源ボタンのLEDが点滅してスタンバイの状態になっていることを確認します。その後、ザルの持ち手を使って左右に揺すりながら上に持ち上げて外します。その後、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。



### ②液体を捨てる

鍋の持ち手を使って、液体を捨ててください。  
※液体を捨てる時は冷めてから捨ててください。



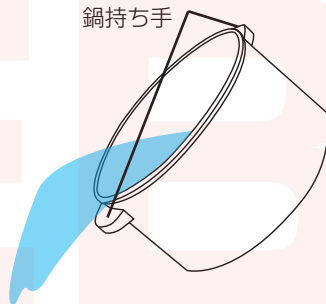
警告

液体は冷めてから捨てる

火傷の原因になります。

液体は十分に冷めてから捨ててください。

鍋持ち手



## お手入れ



注意

- ※お手入れは、必ず電源ケーブルを抜き、本体が冷めてから行ってください。
- ※食材の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。
- ※ヒーター接続部に水をかけたり、水洗いをしないでください。
- ※漂白剤などの薬剤は使用しないでください。

ご使用後は必ずお手入れをして、いつも清潔な状態で使用してください。

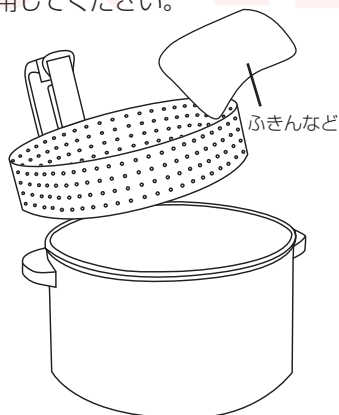
### ◇鍋、ザルの中

鍋の中とザルはスポンジと食器用洗剤を使い、洗ってください。洗い終わりましたら、ふきんで水滴を拭き取り、よく乾燥させてください。

**鍋の裏側、丸洗いは絶対にしないでください。  
(本体に防水機能がついていない為、本体に水がかかると故障の原因となります)**

**調理物が残った状態や異物が付着した状態で放置しないでください。**

**鍋底のステンレス部分を金属たわしで洗わないで下さい。傷が付きます。**

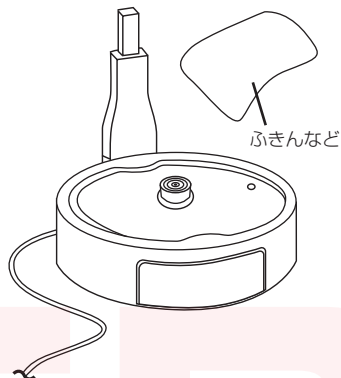


## お手入れつづき

### ◇電源プレート

ヨゴレは、水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取ってください。落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようにきれいにふき取ってください。

※本体の丸洗いは絶対にしないでください。  
※ヒーター接続部や電源ケーブルは絶対に濡らさないでください。



## 困ったときは

症状	原因	処置
温度が上がらない	電源コードがコンセントから外れていませんか。	電源コードをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
沸騰に時間がかかる	火力が弱くなっていませんか。	火力を強にしてください。
ランプが点灯しない	電源コードがコンセントから抜けていませんか。	電源コードをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

## 点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日ごろから点検をおこなってください。

### ◆こんな症状はありませんか？

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い
- 電源コード、電源プラグに深い傷や変形がある
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- こげくさいにおいがする。
- 器具に触れるとピリピリと電気を感じる。
- その他異常や故障がある。

### ◆異常があれば

## ご使用中止 !!

故障や事故防止のため、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ずサポートセンサーまでご相談ください。

- 電源プラグやコンセントにホコリやごみがたまっている。

ホコリやごみを取り除いてください。

## 仕様

サイズ	幅 260× 高さ 230× 奥行 290(mm)
重量	約 2240g
定格入力電圧	100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	600W
鍋容量	3L(最大使用水量 2L)
安全装置	温度過昇防止機能、温度ヒューズ
内容品	本体、蓋、鍋、ザル、電源プレート、日本語説明書
ケーブル長	約 1320mm
保証期間	購入日より 12 ヶ月

※内容品に記載している以外のものは付属しません。

※使用しない場合はコンセントを抜いてください。

※本製品は非常に熱くなりますので、火傷にご注意ください。

※子供の手の届かない場所でご使用・保管してください。

※落としたり強い衝撃を与えないでください。

※分解しないでください。

※修理・改造をしないでください。

※本製品に熱や異音、異臭などの異常が認められた場合は直ちにご利用を止め、弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

※本製品をご利用において生じる物品の破損は、保証の対象外となります。

※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があります、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

※ご使用中においてのお客様の過失による故障、破損、改造等はサポート保証の対象外となります。

※正しく使用されない場合に生じた事故等について弊社での責任は負いかねます。

## ●故障かな?と思ったら●

### お問い合わせ・修理をご希望をされる場合

**support@thanko.jp** に空メールをお送りください。  
自動返信でご案内いたします。

### ※自動返信が来ない場合

送信前に「@thanko.jp」のメールが受信できるように設定の上ご送付ください。

QRコードを読み取り、空メールを送信できます。



### 不具合品のご送付先

ご送付いただくだけでは対応ができない為、必ず空メールをお送りいただき、内容をご確認の上ご送付ください。

チバケン ナラシノシ アカネハマ

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-1

EL 内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)

お問合せメールアドレス :support@thanko.jp